

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」桑名校		
○保護者評価実施期間	2025年11月17日		～ 2025年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年11月17日		～ 2025年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりに合わせたオーダーメイド療育を行っています	お子様の様子についてご家族様と丁寧に共有しながら、困りごとや苦手なこと、今後の課題を一緒に見つけていきます。日々の療育支援の中で「できた」と感じられる瞬間を共有し、成長を実感していただくとともに、お子様により合った支援ツールを活用しながら発達を促していきます。	やらせるのではなく、「自然にできるようになった」を目標にしたいため、今後もスモールステップでお子様に無理のない範囲で課題を提供し、楽しかった、悔しかったけど次は頑張る、など前向きな気持ちでお帰りになられるよう意識していきたいです。
2	個別療育だけではなく、集団における社会性を育てるための小集団療育にも取り組んでいます	小集団活動では、学校とは異なる集団の中で、異年齢のお子様同士が関わり合う経験を大切にしています。それぞれのお子様を抱えている困りごとや課題に向き合いながら、集団での活動を通して自己表現をしたり、意見を伝え合ったりすることで、社会性を育てていけるよう取り組んでいます。	個別でできるようになったことをご家族に伝え、小集団へ促すことで次のステップに進んでいると前向きな伝え方を心掛けていきたいです。また支援の内容は各々ニーズは少し違うかもしれませんが共通している部分もあるので、そこにアプローチをかけるような課題を提供していきたいです。
3	お子様に合った個室での対応ができます	お子様の発達や特性に合わせた個室で療育を行います。扉のある部屋、パーティションで区切られた部屋があり、落ち着いて活動に取り組むことができます。	お子様によって部屋のレイアウトを変え、皆さんが集中して課題に取り組めるよう考えていきたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会をはじめとする保護者同士の交流の場がありません	ご利用前後の待ち時間にお話できる環境はありますが、ゆっくりと話すことができる場になっていません。ご家族様参加型の行事がなく、保護者同士が気軽に関わりを持てる機会を設定できていません。	まず小集団を行う中で少人数のコミュニティができれば良いと考えています。お仕事をされていたり、家事を行ったりしている保護者様がほとんどなので、小さなコミュニティをたくさん作れるような環境など設定していきたいです。
2	地域の方と交流の場がありません	外部活動が少なく、地域の方との関わりを設けることができていません。	現在、地域の方と交流できるツールは何があるか把握できていないので、調べるところから始めたいです。
3	家族支援プログラム(ペアレントトレーニング)を行う機会がありません	現在、家族支援プログラム(ペアレントトレーニング)の開催はできていません。	お子様がご利用している時間に開催することがベストだと考えていますが、対応できる職員がいないため、人員が充足できたら開催を考えても良いかもしれません。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」桑名校

公表日 2026年 2月 14日

利用児童数

22

回収数

15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1	0	0		法令を遵守したスペースを確保しています。利用者の特性や活動内容に応じて、適切な広さの部屋を選ぶことができます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	5	0	0	できれば週2日通いたいですが、なかなか難しそう。時々2人一緒になどがある。ブラジル人職員がほとんどいません。	安定した個別療育の提供ができるよう2026年1月中旬より週5日開所に切り替えて体制を整えています。ブラジル人職員配置を進めています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	0	2	バリアフリーになっているかわからない。	エレベーターをご利用いただけるよう整備していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1	0	0		必要に応じて、別途時間を取り、お子様の支援について話す時間を設けています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1	0	2		アセスメントを行い、本人やご家族の状況を確認して、計画を立案しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	0	1	0	やること自体は固定化されているように感じます。	お子様一人ひとりに合った支援内容を考え、取り組んでいきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	2	1	7	5		地域行事への参加を検討しています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	0	4	5		検討していきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1	0	1		半年に1度ご家族様とモニタリング会議の場を設けています。お子様の子育てや発達に心配やお困りの際は、いつでもご相談ください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	4	7		季節の行事と合わせて、保護者同士が交流できるような機会を検討していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1	0	3		いつでもご相談できる体制を整えています。お気軽にご相談ください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	0	2		行事予定や支援の様子は、LINEやSNSを活用してご家族様に共有させていただいています。今後は、当社ホームページのブログを中心に小集団活動の様子を発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	0	5		毎月、防災訓練を実施し、活動の様子を校舎掲示板に掲示しています。また、校舎内でヒヤリハット事例を共有して事故防止に努めるとともに、社内で研修を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1	0	8		定期的に訓練を実施しています。校舎掲示板の様子を掲示しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	0	0	5		校舎掲示のほかに、ブログで発信する等検討していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1	0	3		事故や自然災害を想定した緊急連絡体制を整えています。事故発生の際は、速やかに連絡します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0		引き続き安心してご利用いただけるよう努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1	0	0		引き続き安心してご利用いただけるよう努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	0		引き続き安心してご利用いただけるよう努めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」桑名校				公表日	2026年 2月 14日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	法令を遵守したスペースを確保している。利用者の特性や活動内容に応じて、適切な広さの部屋を選ぶことができます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	法令で必要とされる配置数の職員を配置しています。	安定した校舎運営のために、人員を増やす必要があります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	部屋番号の掲示、玩具の片づけ場所に写真を掲示する等、こどもたちが認識しやすいよう工夫しています。	階段しかないので、バリアフリー化はされていません。しかし建物内にエレベーターがあるため、使用しても良いか確認をとってまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日清掃を行い、机や椅子は月齢や発達に合わせて適切なものを選択し、配置しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	適切な環境を整えています。扉のない部屋もパーティションを使用して個別活動ができるよう工夫しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1		情報共有を行ったり、支援計画については話し合いをしていますが、伝達不足な点もあるため、今後気を付けてまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者様からのご意見をもとに、他事業所(他校舎)と連携し、体制強化を図っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	事業所内で、日々意見交換を行っています。	1票入職してすぐで分からないという意見がありましたので、今後こまめに意見交換や情報共有を行ってまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	外部評価は実施しておりませんが、定期的に社内監査を行い、評価と改善を行っています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	4	毎月、社内複数回の研修を行っています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	作成しており、事業所内に掲示しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	計画期間ごとにモニタリングを実施し、個別支援計画を作成しています。また、会社全体で統一されたアセスメントシートを使用し、どこの事業所でも高い質のサービスを受けられるよう工夫しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	支援を担当するすべての職員が、支援計画の作成に参加し、支援を行っています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	いつでも計画を確認することができるような環境を整えています。また、計画をもとに支援の実施と振り返りを行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	会社全体で統一されたアセスメントシートを使用して毎年アセスメントを実施しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	アセスメントを行い、本人やご家族の状況を確認して、計画を立案しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	日々の療育の内容や利用者からのご意見ご要望を職員間で共有する体制を整えています。活動プログラムは、職員で話し合い、計画に沿った内容を立案しています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	個に応じた支援内容を考え、効果的に楽しく学べるようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	小集団が必要であると感じるご利用者様にはご案内をしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	日々お子様の情報共有を行い、適切な支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	気になった点など、すぐに情報共有することができる体制を整えています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	利用時は支援記録を残すとともに、支援の結果から得られた成果や課題を職員間で共有し、次の支援に活かしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	計画期間毎にモニタリングを行いながら、職員間で情報共有して見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達管理責任者が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	他事業所や市役所、発達センターなどと情報を共有しています。	特に今関係機関と連携することに力を入れていますので、引き続き行っていきたいです。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	移行時期には、依頼があれば今までの支援の経緯を含め、現在の状況を情報共有しています。また現在保育園と情報共有を行うことができます。	今後も情報共有を行える圏を増やしていけるよう、まずご利用者様との信頼関係を築き安心して任せてくれるよう努めていきたいです。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	移行時期には、依頼があれば今までの支援の経緯を含め、現在の状況を情報共有しています。	就学への移行を引き継げるよう、職員全体がお子様の発達の状況や様子を把握できるようにしておきたいです。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	対応で困った場合、困難事例の助言を受けています。また社内で事例検討会を実施し、様々な対応策を勉強しています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		今よりも更に連携を密に図り、交流する機会のきっかけづくりを努めていきたいです。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	一名無回答でした。支援終了後、保護者と話し合う機会を設けています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	一名無回答でした。保護者から相談を受けたときは、ご家庭で実施していただける内容の情報提供をしています。	保護者参加型行事の開催、保護者会の実施等を検討していきます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に丁寧に説明するとともに事業所内に書類を掲示しています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	定期的に利用児童とその保護者の思いや意見を聞きとり、計画へ反映しています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	モニタリングで話を聞き、計画作成後も支援内容を説明したうえで、同意をもらっています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	支援の合間時間を活用し、保護者からのご相談にのっています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		保護者参加型行事の開催、保護者会の実施等を検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	いつでも相談や申し入れを受け入れる体制を整えており、迅速かつ適切に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	行事予定や支援の様子は、LINEやSNSを活用して保護者に共有しています。	今後は、当社ホームページのブログを中心に小集団活動の様子を発信していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報が記載された書類は鍵付き書庫へ保管しています。また個人情報にアクセスできるPC端末には、パスワードを設定して情報管理を行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	利用児童やご家族の状況に応じて、適切に意思疎通、情報伝達を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		地域で開催している行事に参加し、事業所の事を認知してもらえたいです。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	定期的に研修を実施しています。	研修を実施し、訓練も行っているが、職員全体の認知度が低いと感じられます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	月1回の避難訓練の実施、又は職員間での話し合いをしています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	保護者の方に記載していただき、基本情報シートにて確認しています。また、アセスメントの際にも再確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	食べ物を扱う活動を行う際は、保護者の確認と了承を得て実施しています。	以前も確認したことがある方については、確認の取り方に注意していきたいです。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		計画は作成し、研修や訓練を実施していますが、職員全体の認知度は低いと感じられます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		計画は立てていますが、ご家族への周知はできていません。ご家族へ周知する体制を整えていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハット事例が起こった際は、報告書を作成して保管し、職員間で共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	マニュアルを作成して、研修を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	保護者に十分説明をして個別支援計画へ記載します。契約時にも重要事項説明書を使って説明しています。		